

# KIITO:

日常のあたりまえを疑い、自分と未来について考える。  
トークイベント「未来のかけらラボ vol.15」を開催します

神戸市の都市戦略「デザイン都市・神戸」の拠点施設である「デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)」では、創造性を育むさまざまな活動に取り組んでいます。  
この取り組みの一環として、次のとおり催事を行いますので、ぜひご参加ください。



世界でも災害の割合が高い「災害大国・日本」。近年、過去にない異常気象や大災害に見舞われることが多くなり、生活や社会経済に多大な影響をもたらしています。災害時には、生きる上で欠かせないライフラインが絶たれてしまうなどの危険があり、どのようにそれらを確保出来るかが重要な課題となっています。また、そのような非常時には家族や地域といった助け合いの仕組みづくりが不可欠になります。どのような備えが可能なのか、自分と未来について考えることが必要となってきた今、未来を見据えた取り組みが大阪・釜ヶ崎で行われています。今回の「未来のかけらラボ」では、アートを中心としたであいと表現の場をつくる〈NPO 法人こえとことばとこころの部屋 (ココルーム)〉代表の上田假奈代さんをお迎えし、これまでの活動のほか、自分たちの手で命を支える水を汲んでみようとして2019年に釜ヶ崎芸術大学のプログラムの中で実践された井戸掘りのお話を中心に、活動の目的とそこから生まれた変化についてお聞きします。上田さんのお話を通して、移り変わる社会状況の中で生きていくために必要な視点やつながりを考えてみます。

**開催概要** 未来のかけらラボ vol.15 トークセッション「声かけあって、また明日。—井戸掘りから生まれること」

日時：2020年2月7日(金) 19:00~20:30

場所：デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) 1階 カフェ

参加：500円 (1ドリンク付き) 定員：40名 (事前申込優先)

申込：ウェブサイト (<http://kiito.jp/>) からお申込みください。

講師：上田 假奈代 (詩人・詩業家) モデレーター：芹沢 高志 (デザイン・クリエイティブセンター神戸 センター長)

主催：デザイン・クリエイティブセンター神戸

## 井戸掘り作業の様子



photo: 中牟田雅央

### 講師 プロフィール

上田 假奈代 (うえだ かなよ)

詩人・詩業家

1969年吉野生まれ。3歳より詩作、17歳から朗読をはじめ。「ことばを人生の味方に」と、92年から全国で詩のワークショップを手がける。2003年大阪・新世界で喫茶店のふりをした拠点アートNPC「ココルーム」を立ち上げ、「表現と自律と仕事と社会」をテーマに社会と表現の関わりをさぐる。2008年西成・釜ヶ崎に移転。2012年、「釜ヶ崎芸術大学」、2016年「ゲストハウスとカフェと庭ココルーム」開設。大阪市立大学都市研究プラザ研究員。2014年度文化庁芸術選奨文部科学大臣新人賞。

photo:村上康文



### モデレーター プロフィール

芹沢 高志 (せりざわ たかし)

デザイン・クリエイティブセンター神戸 センター長

1951年東京生まれ。89年にP3 art and environment を開設。99年までは東長寺境内地下の講堂をベースに、その後は場所を特定せずに、さまざまなアート、環境関係のプロジェクトを展開している。アサヒ・アート・フェスティバル事務局長 (03~16年)、横浜トリエンナーレ2005キュレーター、別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」総合ディレクター (09年、12年、15年)、さいたまトリエンナーレ2016ディレクター。



### 「未来のかけらラボ」とは

デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) のセンター長・芹沢高志をモデレーターに、混迷を深めている現代社会において、身近に散らばる多様な未来のかけら、つまり可能性の芽を拾い集め、草の根的に自分たちの未来を思い描こうとしていく試みです。

お問合せ | デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当 住所 | 兵庫県神戸市中央区小野浜町 1-4

開館時間 | 9時~21時入館料無料 休館日 | 月曜日 (祝日または振替休日の場合はその翌日) WEB | <http://kiito.jp/>